



7月7日 星に願いを・・・

7月7日は「七夕（たなばた、しちせき）」です。皆さんも笹の葉に短冊をつるして願い事をする、という経験があると思います。学校の中でもたくさんの願い事が短冊に書かれてつるされています。「天の川」「織姫（こと座の1等星ベガ）と彦星（わし座の1等星アルタイル）」を探して、星空をながめる人も多いのではないのでしょうか。

私の「星に願いを」は、「生徒・先生の願い事がすべて叶うように」です👉

そもそも「七夕」って何？

七夕は日本に古くからある「五節句（ごせつく）」のお祭りの1つです。元々、「乙女が着物を織って棚にそなえ、神様を迎えて秋の豊作と人々の健康を祈る」という日本の神事だった「棚機（たなばた）」が由来です。これに、中国を起源とする「織姫と彦星の話」と「乞巧奠（きこうでん）：中国の祭り」が合わさって今の七夕の行事になったそうです。

いろいろな七夕飾りにも意味があります。「短冊」は代表的な飾りですが、他の飾りについて調べてみても面白いですね。

さらに深掘りして五節句の話

「節句」とは「季節の節目となる日」のことで、もとは中国から伝わった多くの種類の年中行事が、日本の文化と混ざり合って少なくなり、江戸時代に特に重要な下の5つを祝日にしたことが現代に伝わる由来です。今は5月5日が「こどもの日」の祝日として残っていますが、他の4つの節句も大切に扱われていますね。

1月7日・・・人日（じんじつ）の節句 別名：七草の節句

3月3日・・・上巳（じょうし）の節句 別名：桃の節句

5月5日・・・端午（たんご）の節句 別名：菖蒲の節句

7月7日・・・七夕（しちせき）の節句 別名：笹の節句（たなばた）

9月9日・・・重陽（ちょうよう）の節句 別名：菊の節句



思わず目がとまりました。
「織姫様 彦星様へ
この度、僣越ながら願いを送らせていただく所存であります。私がお二方に望むことは「健康」です。一生の間、健康であり、充実した人生を送りたいからです。何卒よろしくお願いいたします。」

よく見ると、すべて「奇数が重なる日」になっていますね。これは「奇数＝陽（発展）」「偶数＝陰（不安定）」とする昔の考えの中で、「奇数同士を足して偶数になる日は縁起が悪いから邪気をはらうため」といわれています。1月1日は「元旦」なので外されました。「七五三」も奇数ですね。偶数は「2つに割り切れる」ため、別れを連想させるので祝い事では避けられます。

思永中サミット「新時代はこの未来だ」

7月3日（金）に学級の代表が集まって、思永中学校の「新時代」をつくるために話し合いを行いました。

真剣な協議の中で、たくさんの良い意見が出されました。自分たちで学校をより良いものにしていきたいと思います。



ちょっといい話👉

先日、北区のある中学校の校長先生から「生徒が登校中に、部活の先輩に向けて書かれたメッセージカード（約5cm四方の小さなもの!）を拾って届けてくれました。大切なものだと思います。心当たりがある学校はありませんか。」と連絡がありました。調べてみると本校の生徒が落としたものと分かり、無事に持ち主の元に戻ってきて大変喜んでいました。

届けてくれた生徒さん、情報を展開してくれた校長先生、調べて学校まで取りに行ってくれた先生。たくさんの善意ある行動によって、困っていた生徒が助けられました。

すごく素敵な出来事でした。